

《研究報告》

## グループホームにおける認知症高齢者への 漸進的筋弛緩法の短期的評価

池俣 志帆<sup>1)</sup>, 百瀬 由美子<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup> 椋山女学園大学看護学部看護学科, <sup>2)</sup> 愛知県立大学看護学部看護学科

### 要 旨

**【目的】** グループホームにおいて、認知症高齢者へ漸進的筋弛緩法を実施し、それによるリラクゼーション反応を明らかにするため、実施前後の生理、心理的反応について評価する。**【方法】** 対象者18名について、漸進的筋弛緩法を1日1回、15分間、2週間実施した。初回、7日目、14日目の実施前後に、血圧、脈拍、呼吸数の変化、唾液アミラーゼ値の変化、主観的反応について評価した。**【結果】** 漸進的筋弛緩法の実施前後において、有意な減少がみられたのは、収縮期血圧値が14日目 ( $p = 0.016$ )、拡張期血圧値が7日目 ( $p = 0.016$ )、14日目 ( $p = 0.003$ )、脈拍数が初回 ( $p = 0.042$ )、7日目 ( $p = 0.021$ )、14日目 ( $p = 0.002$ )、呼吸数が14日目 ( $p = 0.029$ )、唾液アミラーゼ値は、初回 ( $p = 0.038$ )、7日目 ( $p = 0.041$ )、14日目 ( $p = 0.003$ ) であった。実施後の主観的反応では、肯定的な反応が聞かれた。**【結論】** 認知症高齢者への漸進的筋弛緩法による影響としては、実施前後において初回、7日目、14日目ともに血圧、脈拍数、呼吸数、唾液アミラーゼ値は減少傾向がみられた。

キーワード：短期的評価, 漸進的筋弛緩法, 認知症, グループホーム